



日本学術会議

SCIENCE COUNCIL OF JAPAN

日本の「研究力」の危機を立て直す 4つの改革

提言「研究力の危機と再構築：学術と社会を支える
持続的な研究エコシステムの構築に向けて」

研究力を「基盤的な研究の厚みに基づき、先端的な研究をダイナミックに展開し、学術的貢献と社会・経済的インパクトの双方を持続的に創出する能力」と定義し、改善策を提示

1

若手研究者の持続的雇用の実現

安定的雇用と流動性を両立する環境整備
研究者に適した労働契約法のあり方の検討

2

研究資金・財政基盤の見直し

資金の継続的モニタリングと制度的改善による
基盤経費の拡充と競争的資金とのバランス確保

3

研究教育の成果最大化マネジメント

不要な手続きや管理項目を列挙した
ホワイトリスト制度の構築による過剰コンプライアンス抑制

4

博士人材の育成と社会との接続

職業的研究者として博士学生を雇用
産業とアカデミアでの共同指導やキャリア形成の体制構築

提言の要旨・本文等は、こちら

